

# 自然エネルギー普及と 電力システム改革

低炭素社会実現への **経済学** からの挑戦

2019 **8/21** (水) 19:00-20:30

大阪大学中之島センター 10階 佐治敬三メモリアルホール

講演 自然エネルギーとエネルギー転換 大林 ミカ 公益財団法人自然エネルギー財団事業局長  
電力システム改革の経済分析 大橋 弘 東京大学公共政策大学院副院長 経済学研究科教授  
日本の電力市場の現状と問題点 松村 敏弘 東京大学社会科学研究所教授

パネルディスカッション 司会 芹澤 成弘 大阪大学社会経済研究所教授

地球温暖化対策のため、各国は低炭素エネルギーとして太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーを普及させています。技術進歩により、従来の化石・原子力エネルギーと比較して自然エネルギーのコストも低下していますが、その普及のためには送電システムや電力市場などを全面的に改革する必要があります。今回は日本の自然エネルギー普及の現状とさらに普及させるために必要な電力システムの改革について、主に経済学の観点から議論します。

参加のお申し込みは <http://osku.jp/p0696> から (参加無料 先着 180名)  
お問い合わせ：大阪大学社会経済研究所 シンポジウム事務局 参加受付係  
TEL:06-6879-8588 FAX:06-6879-8583

主催：大阪大学社会経済研究所  
後援：一般財団法人アジア太平洋研究所 (APIR)  
協力：大阪大学 21世紀懐徳堂

